

令和7年度 学校評価アンケート 集計結果について

『 学校は・・・、先生は・・・』 上段：令和6年度 下段：令和7年度

	質 問 項 目	あてはまる	どちらかというど あてはまる	どちらかというど あてはまらない	あてはまら ない	わからない
1	学校は、子どもや地域の実態を踏まえた教育活動に取り組んでいる。	45%	47%	1%	0%	6%
		44%	43%	2%	0%	11%
2	学校は、子どもたちにわかるよう学習指導をしている。	50%	43%	2%	0%	5%
		46%	48%	2%	1%	3%
3	学校は、子どもの話をよく聞いている。	43%	46%	4%	0%	7%
		54%	38%	1%	3%	4%
4	学校は、教育活動の様子を適切に知らせている。	60%	35%	2%	0%	3%
		54%	40%	2%	1%	3%
5	学校は、安全への指導や配慮がなされている。	51%	41%	1%	0%	6%
		44%	47%	2%	1%	6%
6	学校は、施設・設備等の管理を行い、安全な環境が保たれている。	46%	43%	2%	0%	8%
		46%	44%	2%	1%	7%
7	学校は、いじめの防止や早期発見に努めている。	25%	48%	2%	1%	25%
		30%	35%	5%	5%	25%
8	お子さんのことについて、担任と話し合う機会がある。	59%	35%	3%	1%	2%
		60%	33%	6%	1%	0%
9	学校に行ったときや電話をかけたとき、教職員の対応は適切である。	73%	24%	2%	1%	0%
		69%	28%	2%	1%	0%
10	学校は、家庭や地域と連携して教育活動を行っている。	46%	42%	2%	0%	10%
		43%	42%	1%	1%	13%
11	学校は、特別な支援が必要な児童への配慮が適切になされている。	37%	33%	2%	0%	27%
		35%	30%	2%	3%	30%

ほとんどの項目で肯定的な意見が8割を超えています。学習指導（項目1、2）では、肯定的な意見が87%、94%であり、職員が「わかる授業」を意識し、授業を行っていることで子どもたちの学習意欲を向上させ、成果がでているものと考えます。今後も学習内容の確実な習熟に向けて、全職員で努力していきます。

項目3では、肯定的な意見が92%となっており、「あてはまる」と回答した割合が昨年度より上昇しています。職員が児童の様子を注意深く見守り、積極的な関りをしていることを評価していただいた結果だと感じています。そのため、項目7ではいじめ防止に対しての取り組みに「あてはまる」との回答が昨年度より上昇しました。しかし、いじめ防止や早期発見に関して、「わからない」との回答も多く、昨年と比較すると肯定的な回答は減少しています。今後も、継続して児童に積極的にかかわりながら、いじめ防止、早期発見に向けて校内の体制づくりをしっかりと行っていきます。そして、学校での取り組みについて積極的に地域や保護者の皆様にお知らせし、児童が安心して学校生活を送れるように努めていきます。

項目11「学校は、特別な支援が必要な児童への配慮がなされている」について、年度当初に合理的配慮を希望するご家庭についての調査をし、必要と判断した特別な支援、配慮を行ってまいりました。また、今年度は東金市より4名の支援員を配置していただき、特別支援コーディネーターと相談のうえ適宜配置し学校生活を円滑に送れるように支援をしています。学校の取り組みについて適切にお知らせするとともに、随時校内での支援会議を行い、適切な支援、配慮ができるように今後も継続して取り組んでいきます。

『 お子さんは・・・ 』

質 問 項 目		あてはまる	どちらかというにあてはまる	どちらかというにあてはまらない	あてはまらない
1	お子さんは、元気に登校している。	75%	20%	4%	1%
		69%	24%	6%	1%
2	お子さんは、学習内容を身に付けている。	37%	55%	8%	0%
		32%	56%	11%	1%
3	お子さんは、あいさつや適切な言葉遣いが身に付いている。	31%	61%	8%	0%
		31%	59%	9%	1%
4	お子さんは、友達と仲良くしている。	60%	39%	1%	0%
		53%	46%	1%	0%
5	お子さんは、元気に運動や外遊びをしている。	64%	30%	5%	1%
		63%	30%	6%	1%
6	お子さんは、朝ご飯を食べている。	80%	13%	6%	1%
		77%	16%	6%	1%
7	お子さんは、早寝・早起きをしている。	35%	45%	17%	3%
		39%	44%	14%	3%
8	お子さんは、学年に応じた家庭学習（学年×10分以上）をしている。	31%	43%	20%	6%
		31%	38%	21%	10%
9	お子さんは、読書をしている。	16%	23%	37%	23%
		17%	23%	30%	30%

項目1～6について、肯定的な評価を多くいただいています。これは学校として非常にありがたいことです。項目3「お子さんは、あいさつや適切な言葉遣いが身に付いている」については、学校全体で意識をして活動をしています。今後も、学校の柱の一つとして働きかけていきます。一方、項目2「学習内容を身に付けている」については、令和6年度と比較をすると下がっています。基礎基本の定着が不十分と感じているご家庭もあるようです。令和7年度「マイスタディー・タイム」において、自由選択学習を取り入れました。一人一人が自分にあった学習内容や学習方法を考えて取り組みました。来年度も同様の取り組みをしつつ、教員の授業力向上を目指した研修をしたり、各学年・各学級の実態に応じた指導方法を検討したりしながら、着実に基礎基本が身に付くように学校全体で取り組んでいきます。

家庭学習ががんばり週間の取り組みに対して、保護者の方からの温かい言葉をいただき、子どもたちの家庭学習への意欲向上につながっているものの、継続した取り組みに発展していないなどの課題が考えられます。さらなる工夫改善を加え、学習習慣の定着に向けて取り組んでいきます。

項目6「朝ご飯」については、93%の家庭が食べていると回答をいただきました。朝食は、一日のエネルギーの源であり、子どもたちの体の成長にも大きく寄与しています。ご家庭でのリズムある規則正しい生活の充実、さらには、子どもたちが学校生活の中で思う存分力が発揮できるよう「早寝早起き朝ご飯」を合言葉に、今後ご家庭でのご協力をよろしくお願いします。

項目8「学年に応じた家庭学習」については、肯定的な回答が69%でした。子どもたちの回答に家庭でスマホやYouTubeをみたりゲームをしたりする時間が多い傾向あることがわかります。学習内容の定着のためにも、家庭での学習が必要不可欠となっています。学校では「家庭学習ががんばり週間」を設定したり、授業内容を復習できるように宿題を出したりしています。各ご家庭と協力しながら家庭学習に取り組めるようにしていきます。

項目9「お子さんは、読書が好きである」について、全項目の中でも肯定的な評価が低い結果となりました。学校では、朝読書の時間を設けてはありましたが、今後も読書の時間の確保、学校図書館・学級文庫等の充実をこれまで以上に図っていきます。

<自由記述について>

自由記述欄では、多くの保護者の方から学校、教職員に対して温かいお言葉をいただきました。皆様方からのお言葉を今後も励みにして、子どもたちのために一層邁進していきます。

一方で、学校の課題について頂いたご意見もいただきました。特に、教員の子ども達に対しての対応についてや行事（運動会、マラソン大会）の持ち方については、学校として真摯に受け止め、今後の対応策の検討や改善に努めてまいります。

保護者・地域の皆様には、学校行事やPTA活動をはじめとして、様々な場面で本校の教育活動を支えていただいています。教職員一同、これまでのご協力に感謝申し上げますとともに、さらに充実した教育活動の推進に向け、努力してまいります。今後とも学校教育にご理解とご協力をよろしくお願いします。

『児童アンケート』

上段：令和6年度 下段：令和7年度

	質問項目	あてはまる	どちらかという あてはまる	どちらかという あてはまらない	あてはまらない
1	学校に来るのは楽しい	58%	32%	8%	2%
		69%	24%	5%	2%
2	学校の勉強はよくわかる。	50%	39%	9%	2%
		55%	38%	6%	1%
3	先生や友達の話をしっかり聞くことができる。	61%	33%	5%	1%
		64%	32%	3%	1%
4	発表をしている。	37%	29%	21%	13%
		37%	31%	21%	11%
5	読書をしている。	51%	29%	12%	8%
		52%	29%	13%	6%
6	友達と仲良く生活している	67%	27%	5%	1%
		77%	21%	2%	0%
7	学校の約束や決まりを守って、生活している。	43%	50%	6%	2%
		55%	39%	5%	1%
8	一生懸命そうじをしている	55%	36%	7%	2%
		67%	27%	5%	1%
9	事故にあったりケガをしたりしないように安全に気を付けて生活している	61%	30%	7%	3%
		69%	23%	5%	3%
10	身の回りの整理整頓をきちんとしている	49%	34%	12%	5%
		51%	35%	9%	5%
11	「おはよう」「こんにちは」などの挨拶や「はい」の返事がしっかり言える。	67%	25%	6%	2%
		73%	20%	4%	3%
12	外遊びをしている	64%	24%	8%	5%
		64%	22%	8%	6%
13	先生は話をよく聞いてくれている	67%	29%	2%	2%
		73%	22%	4%	1%
14	お家で進んで勉強をしている（学年×10分）	42%	33%	18%	8%
		43%	32%	18%	7%
15	家で、おうちの人とお話をしている	76%	17%	5%	2%
		80%	16%	2%	2%
16	朝ごはんを食べてから登校している	78%	10%	6%	6%
		80%	10%	5%	5%
17	早寝早起きをしている	38%	32%	20%	10%
		40%	35%	16%	9%
18	おうち的人是、自分がいけないことをした時、しっかり叱ってくれる。	84%	12%	2%	2%
		82%	14%	2%	2%
19	おうち的人是、自分のよいところをほめてくれる。	72%	17%	6%	5%
		76%	17%	4%	3%

児童アンケートでは、昨年度と比較して、すべての項目で評価が向上していることがわかります。

項目1「学校に来るのはたのしい」に肯定的な回答した子どもたちが、全体の93%となりました。これは、充実した学校生活を送ることが出来ていることを示しています。

その反面で、7%が「たのしい」と思っていない現状があります。来年度は100%を目差し、全職員が子どもたちの笑顔のために、精一杯取り組んでいきたいと思ひます。

『1日の中で、ゲームやスマートフォンなどを使ったり、 テレビやYoutubeなどを見たりする時間は・・・』

<平日>

	人数	%
0分	20	6
30分より少ない	46	14
30分～1時間	64	20
1時間～2時間	80	24
2時間～3時間	40	12
3時間以上	75	24

<休日>

	人数	%
0分	16	5
30分より少ない	31	9
30分～1時間	46	14
1時間～2時間	53	16
2時間～3時間	63	19
3時間以上	114	36

今年度も、平日、休日のゲーム・スマホ・テレビ視聴時間についてアンケートをとりました。

子どもたちのテレビ等の視聴・ゲーム時間の統計ですが、3時間以上が平日は全体の4分の1、休日は3分の1を超えています。この結果から、テレビ等の視聴やゲームに依存している子どもたちが多いことがわかります。全国的な様々な統計調査からも青少年のスマートフォンやタブレット端末によるゲームや動画視聴は、増加傾向にあるという結果が発表されています。また、これらの時間が長い子どもたちは学力・体力がともに低くなる傾向にあることが文科省の調査から出ています。

学校では、テレビ視聴・ゲームの時間と学力・体力の関係について、学年に応じて指導していきますが、子どもたちの健康面・学力面の両面から、生活習慣、特にテレビやゲーム等の時間については、各家庭と協力して取り組んでいく必要を感じています。

『教職員アンケート』

	あてはまる	どちらかという とあてはまる	どちらかという とあてはまらない	あてはまらない
教育目標やめざす子ども像の具現化に向けて、学習活動を展開した	50%	50%	0%	0%
教育目標やめざす子どもの像の具現化に向けて、担当の校務分掌の計画・運営の改善に努めた	41%	59%	0%	0%
子ども達は「工夫して学ぶ子」に育っている	0%	86%	14%	0%
子ども達は「思いやりのある子」に育っている	18%	73%	9%	0%
子ども達は「運動に親しむ子」に育っている	45%	55%	0%	0%
安全に学校生活が送れるよう指導や教育環境づくりに努めた	59%	41%	0%	0%
主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組んだ	36%	59%	5%	0%
指導と評価の一体化を図り、評価したことを指導の改善に生かしている	23%	77%	0%	0%
ICT機器などの教育機器を授業で活用した	0%	59%	5%	36%
道徳の授業の充実に努めた	9%	73%	5%	13%
教育相談機能を発揮し、児童理解に努めた	45%	55%	0%	0%
教師と児童、児童相互の好ましい人間関係の育成に努めた	68%	27%	5%	0%
生徒指導や特別な支援が必要な児童への指導や対応を組織的に行った	45%	55%	0%	0%
保護者との相互理解を図るために、連絡や話し合いを積極的に行った	55%	32%	5%	8%
特別な支援を必要とする児童に温かく接し、必要な配慮に努めた	55%	45%	0%	0%
運動能力の向上や健康・保健衛生についての指導に努めた	32%	68%	0%	0%
協調性や忍耐力、働く意欲などの社会性の育成に努めた	41%	59%	0%	0%
授業研究に積極的に取り組んだ	27%	68%	5%	0%
研究・研修会に積極的に参加し、教師としての能力を高めた	23%	59%	14%	4%
PTA活動や地域行事に積極的に参加している	14%	73%	13%	0%
学校の教育方針や情報などが、学校だよりや学年だよりなどで分かりやすく伝えられている	41%	59%	0%	0%

自由記述:その他「成果と課題・改善点」があれば、簡条書きで記入してください

教育活動の充実のため、学校行事の見直しが必要と考えます。

働き方改革

成果・支援が必要な児童に対して、その子に合った支援を行うことができた。
課題・授業規律や生徒指導的な面の配慮により、対話的という面での学習がやや疎かになった。
改善点・児童同士の関わりを多くもって、活動させていく。

自分で目標を立てて学習できるようになってきた

・マイスタディタイムの活動をもっと充実させられるようにしたいと思いました。自分で積極的に学ぶ姿勢が見られてよかったです。
・おはなしキャラバンが、子どもたちが楽しんでいる様子が見られてとてもいいなと思っています。校長先生のおはなしキャラバンがとても楽しそうでした！

教員のさらなる 指導力、保護者対応、生徒指導力の向上のための校内研修、公開研修会への参加など進んで参加していきたいです。

取り組んだことが直ぐに成果として現れなくても地道に取り組んでいくこと

・児童の話聞き、上手く解決することに課題がある。
・双方の話片方ずつ聞き、互いの言いたいことを聞き出しながら解決していく。

巡回指導の良さを活かして、各学校でのすてきな取り組みを紹介した。そして、医療とも情報交換したことで、児童一人一人に合わせた支援がスムーズにできた。

・児童の姿から、思いやりのある児童の育成は特に力を入れて取り組めたと感じる
・高学年として、工夫して動ける児童の育成がまだ足りないと感じる

思いやりのある児童を育てていく指導が大切になると思います。また、学習習慣の確立も必要だと思います。

成果:子どもたちが落ち着いて学校生活を送ることができるようになってきている。
課題・改善点:自分の気持ちや考えを優先してしまい、先のことを想像しないで行動してしまうことがまだ多く見られる。

ICT 機器(電子黒板)が学年1台ではなくクラス1台欲しい

ICT機器などの教具の充実、机やロッカーなどの児童が使用する備品の拡充があると嬉しい。

#4「工夫して学ぶ子」は、そのように育てている子もいる一方で、学習に対して消極的だったり、学級での学びに拒否反応を示している児童もいる。多様化の幅が広く、一人ひとりに最適に対応するためには教師としての熟練や授業人数の少人数化が求められると思う。実際に少人数授業を行うことで一定の効果があると感じる。
#5「思いやりのある子」についても同様で、過半数の児童は人との関わり方に関して学び成長しているように見受けられるが、児童の中には、自己中心的な殻を破ることができないままの人もある。教職員に対しても、わがままを通そうとする姿も目にする。
困った時に管理職の先生方に相談すると、いつも迅速に対応してくださり感謝しています。ありがとうございます。